

第1回水と緑の森づくり会議（H26.5.26） 議事概要

1. 水と緑の森づくり事業等について

○野々村委員

- ・認知度について、女性がアップしている要因は？
→（事務局）女性の認知度が低かったため、みーも通信やイベント出展を女性向けに工夫した。

○田中委員

- ・みーもスクールはどのように実施しているか？
→（事務局）地域のNPO法人等団体と交流のある小・中学校が連携をして実施している。

2. みーもの森づくり事業採択審査

○門脇委員

- ・県立施設については、この事業を使うのに違和感がある。
→（事務局）事業主体はPTAであり、ペレットストーブも最小限1基にしてもらっている。またエネルギー利用の勉強にもなるなどの効果もある。今回の事業が他への啓発となるようにしていきたい。

○田中委員

- ・費用対効果について、この事業はそこまで求められるものではないのか？
→（事務局）一般住民が実施する事業のため、そこまで求められない。ただし参加人数については広く住民の参加を求めている。

○高濱委員

- ・申請者へは何かコメントを付けて返すのか？
→（事務局）委員からの意見を付して回答する。

○梶委員

- ・申請者の意図がうまく反映されるよう、申請の段階でアドバイスがあれば良い。
→（事務局）農林振興センター各事務所で申請を受け付け、必要に応じアドバイスをしている。